



# 北山田小だより



横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

「新年あけましておめでとうございます」

～笑顔（ガオー）で成長できる1年になりますように～

校長 滝川 尚美

2022年、新しい1年が始まりました。今年は寅年です。「寅」という字は「演」が語源とされ、「演じる＝人の前に立つ」という意味や「演（えん）」という字の語源の「延（えん）」から「延ばす」という意味も表しているそうです。このような「人前に立つ」ことや「延ばす」という意味から「寅年」は芽を出したものが「成長していく年」や「始まりの年」と言われているそうです。丑年でいろいろと我慢してきたことが、今年の成長に繋がりそうで楽しみです。

昨年は、一人一台端末を使つての授業が本格的に始まりました。知りたいことをとことん調べ、新しい知識を得る姿。調べたこと、知らせたいことを画像や動画を使って効果的に伝えようとする姿。作成した資料や感想を伝え合い、助言し合い自身の作品をより高めようとする姿。一人一人の目的に合わせてタブレットを使う姿が学校の新しい日常になろうとしています。私たちも一人一台の端末をどのように授業に位置付けることが効果的な学びにつながるのかを考えながら授業改善に努めているところです。国語では、インタビューの様子を動画に撮り自分の話し方を振り返ったり、音楽では合奏を録音し各パートのバランスなどを確認し演奏に生かしたりする様子も見られました。高学年では絵画作品の鑑賞文を書く際に着目した部分の画像を取り込むことで視点が明確な鑑賞文を完成させていました。子どもたちが学習のプロセスで適切に端末を活用し、それぞれの考えを深める姿に新しい学びの姿を感じました。

また、地域と連携した学習にも取り組んできました。3年生は、かくれんぼ公園、4年生は山田富士公園で地域の人たちが使いやすい公園にするためにできることを考え、まずは清掃を行いました。地域の方々の意見を聞きながら今後の活動に取り組んでいく予定です。5年生は、東山田工業地域などと連携して廃材や廃棄米を活用する活動に取り組んでいます。SDGsの17の目標を意識しながら環境を守るためにできることを考えています。6年生の一つのクラスでは、学校の跳び箱に描かれている絵が古くなっていることに気付き、その絵を新しくすることに取り組んでいます。東山田中学校の美術部のみなさんに実際に来校してもらって必要な工程や塗料などの材料のアドバイスを受けました。学習のプロセスで、必要感をもったときに人と会い話を聞き、具体的なアドバイスを受けることは、子どもたちのやる気を高めます。そのやる気が生み出す成果は、ときに大人の想像を越えます。そんな学びを追求できたらと考えています。

2022年も先が見えない日々が続きそうですが、一人一台端末を使った新しい学びや北山田小学校の大きな財産である人とのつながりを大切にしながら子どもたちとともに成長できる1年にしたいと思います。今年も「笑顔いっぱい みんなかがやく 北山田の子」を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

